

2013年12月15日発行



### ♡ 12/4 桑名員弁地域円卓会議のご報告 ♡

12月、みえの「市民活動・NPO月間」の企画のひとつとして、「この地域の市民活動が元気であるために」というテーマで、桑名員弁地域円卓会議を開催しました。

場所は、三重県桑名庁舎の会議室、12月4日の午後2時から4時までの2時間です。二市二町の市民活動を担当する行政・市民活動センターの方たち、三社協の方々、デンソー大安製作所さん、くわしんさん、桑名商工会議所さん、NPOからは、いなべこども活動支援センターさん、生ごみリサイクル思考の会、みえきた市民活動センターなど、全部で22人が集まりました。

最初に、行政、社協、企業、NPOという立場から、市民活動支援のそれぞれの取り組み事例を発表してもらい、いろいろな応援の仕方を確認することができて、元気も出ました。この地域で、市民活動を応援するしくみや取り組みが増えてきていることは、まちがいのないところでした。

一方で、個々の市民活動団体への市民からの認知は、かならずしも進んでいる訳ではなく、市民活動団体の側にも、支援を望む団体もそうでもない団体も、いろいろであることもわかりました。

地域課題の解決を担っていく組織として、市民活動団体が、継続的に、取り組んでいけるかということ、それもまたいろいろな課題があることも理解できました。市民活動団体がそれを背負って機能していくためには、行政や社協、企業、市民の、有形無形のさまざまな応援・支援が必要だということも、あらためて実感させていただいた会議でした。

来年もまた、このような地域円卓会議を開催し、少しでもこの地域での市民活動支援組織・団体が連携して、お互いの領域を越えて、応援の実を高めて行ければと思います。

一方で、応援・支援を受けて、地域課題の解決を担う市民活動団体の人たちの立場からのお話も、是非、聴かせてもらう機会をつくりたいと思います。



★★ みんなのきらきら☆らじお 第 68 回は、

平成26年1月 14 日(火) 午前10時から ★★



★★★ 11月5日みんなのきらきら☆らじお第66回の内容 ★★★

☆ラジオの各企画別の再構成は音声版をこちらからどうぞ

<http://blog.canpan.info/miekita/archive/198>

☆Ustream の録画はこちらからどうぞ

<http://www.ustream.tv/recorded/40486877>

♪教室の運営方法を学ぼう（新井さんの企画）（12' 26"）

ゆずりはという産婦人科さんで、音楽遊びをしました。そのときの様子と歌声も。

♪スペシャルゲスト 佐野さんの世界（18' 22"）

ランナーズハイというグループをつくっています。4月に多度山を走って登ろうというイベントの計画を進めています。走るスピードでまちを見ると、いろいろ目線が変わってきます。

♪ガーデンデザイナーの川戸さんのエレピ生演奏（4' 02"）

ショパンのワルツ 鍵盤が多いキーボードになりました。

♪郷土史家 西羽 晃さんの 幕末・維新の桑名藩シリーズ35（11' 40"）

「占領下の桑名藩士」 明治2年8月に桑名藩の復活が認められるまで、占領下で、武士は恭順謹慎しており、言動がきびしく制限されている中で、生活は苦しく…

♪きらトーク ゲスト ぼちぼち会 近藤薫さん（23' 22"）

藤原町坂本の聖宝寺さんで、紅葉祭りのときに食事を出したりして、盛り上げてます。

♪きらきらするSNS 白尾さん企画（18' 22"）

対人関係は人類が抱える永遠の課題 ウェブ上でもストレスを感じる。

♪エンディングは、川戸さんの演奏にのせて、出演者のみなさんの感想です。（8' 12"）

★★★ 12月3日みんなのきらきら☆らじお第67回の内容は ★★★

テーマは「農と食」 ゲストに三浦秀典さん、近藤和美さんをお招きし、たのしいお話をたくさん聴かせていただきました。ところが回線不調で、前半のビデオが細切れになってしまいました。音声は別ラインでとって無事でしたが、こちらの整理が追いつかず、未整理のままです。m(\_)\_m ぶつ切りの録画ですが、インターネットのUstreamでお楽しみください。http://bit.ly/tKvSNI

♪ NPO 時事（服部さん）市民活動・NPO 月間など

♪ 教室の運営方法について学ぼう（新井さん）

♪ 気ままに☆きらトーク前半 三浦秀典さん（mamaco club）

♪ 音楽生演奏（川戸さん）ベートーベンのピアの協奏曲

♪ 郷土史家西羽章さん寄稿「幕末・維新桑名藩シリーズ36」

酒井孫八郎の大奮闘（朗読：いなべこども活動支援センター 木下さん）

♪ 気ままに☆きらトーク後半

近藤和美さん（いなべ市まちかど博物館 木工館コンドウ）

## 郷土史家 西羽晃氏の歴史寄稿

幕末・維新の桑名藩シリーズ 36 酒井孫八郎の大奮闘

酒井孫八郎(以下、孫八郎と略す)については何度も書いたが、桑名城の開城の時に大活躍し、その後の桑名藩の中心人物として活躍した。慶応4(明治元=1868)年1月 28 日の開城以後の桑名藩は本統寺に重役たちは収容され、本統寺が藩の事務所となった。閏4月中頃には孫八郎ら重役の家族は元の住居に戻ることが許されたが、孫八郎らは本統寺に収容された状態がまだ続いた。

占領下におかれた桑名藩では何事も独自で決定することが出来ないので、占領軍である尾張・津藩との交渉が仕事の中心である。尾張・津藩からの通達を藩士に連絡すること、そして、前回も書いたように、藩士たちの生活保障の交渉である。各地の情報を集めるのも重要な仕事であり、藩士を京都、江戸・東京(7月 17 日に江戸は東京と改名された)、柏崎(桑名藩の飛び領地)などへ派遣している。

9月 25 日に明治天皇は桑名に宿泊し、翌 26 日に桑名を出発し佐屋を経て熱田に着いて、27 日に熱田神宮を参拝し、同日は鳴海で泊っている。孫八郎は天皇を追って、27 日朝に桑名川口からこっそりと乗船し、熱田で休息して夜中に熱田を発って、28 日未明に鳴海へ着いた。天皇は前夜から鳴海に泊っているの、天皇側近の役人に嘆願書を出した。それは桑名藩の占領を解いてほしい願いである。そして書面では意を尽くせぬので、口頭で趣意を述べたいと書いた。天皇は 28 日に鳴海を発って岡崎に泊まったが、孫八郎も後を追って岡崎に達した。孫八郎は嘆願書の回答を貰うため 29 日未明に岡崎で役人に面会したが、回答はなく、桑名へ戻るように命じられた。同日は熱田まで戻って宿泊して、30 日に桑名に帰った。

嘆願書の回答として、10 月3日に尾張・津両藩を通じて触れ出された。それによると占領状態の緩和であり、藩主家族の幽閉が解かれた。また孫八郎ら重役たちも自宅へ帰ることが許された。

しかし前藩主の松平定敬が降伏していないので、桑名藩の占領状態は解かれなかった。そのため孫八郎は定敬を説得するために出かけることにした。勿論尾張藩の了解のもとである。11月3日午後桑名を発って東京へ向かった。部下の生駒伝之丞が同行し、尾張藩から 14 人の武士たちが護衛に付き添った。

14 日に東京に着き、尾張藩の屋敷に入った。東京では定敬探索の許可を得るべく交渉し、傍ら東京残留の桑名藩士たちとも会っている。29 日に許可が下りたので、12 月3日東京を出発、同行は生駒伝之丞と林平右衛門であり、尾張藩からの護衛3人も付き添った。一先ず横浜へ行き、横浜在留の平松屋寅吉の世話で、7日にイギリスの蒸気船ソルトン号に乗船した。外国人も含めて200人ほどが同乗した。函館は敵地のために船が入ることが出来ず、函館を横に見ながら 10 日に青森に着いた。寒い。

青森に駐留する新政府軍の参謀に、蝦夷地への渡航の許可願を出して、許可が認められたので、17 日に青森から陸路を出発、同行は生駒伝之丞だけである。蝦夷は敵地なので、尾張藩の護衛部隊は同行しなかった。孫八郎らは吹雪の下北半島を北上し、耐え難き寒さの中を歩いたが、桑名では未だ経験したことのない大雪であった。途中で吹雪のため2晩は宿で泊まったまま動けず、やっと7日目の 23 日に半島の北端である大間に着いた。

24 日は晴天となり、舟を頼んで冬景色の津軽海峡を渡り、同日の夜に函館に到着し、大町大津屋に宿泊した。25 日に蝦夷政府の役人の取り調べを受け、大小の刀を取り上げられ、6人の番兵が付けられた。29 日の大晦日(当時は太陰暦のため、この年は 12 月 29 日までであった)に新選組の隊長・土方歳三と会った。明治2年の元旦は屠蘇や雑煮が出された。同夜に刀は戻され、山之上神明社の神職宅に居る定敬に会いに行った。以後は孫八郎らは函館の町で泊り、毎日定敬のもとに通った。その一方、蝦夷政府の榎本和泉や土方歳三と会って、今後の事を協議した。

参考文献 「酒井孫八郎日記」(『維新日乗纂輯』第4巻所収)  
「松平定敬家記」(国立公文書館所蔵)  
「公文録」(国立公文書館所蔵)  
「桑名藩御触留」(岩瀬文庫所蔵)  
「明治天皇紀」(吉川弘文館発行)

2014年 2月 22日 (土)

## きらきら基金 第3回助成事業のご案内

みなさま、いつもありがとうございます。

桑名員弁地域のくらしを支える市民の活動が、いつまでも元気でいられるように、少額ですが、たくさんの人からの応援の気持ちを届けたいとはじまった、きらきら基金助成事業。

今年も、桑名市総合福祉会館で、2月22日に助成事業を行います。

今年は20団体への助成と、3つのパートナー事業に、総額40万円強の助成を予定しています。その他、展示、作業所さんのパン・コロッケ・ビスケットの販売、音楽演奏、1分間スピーチ、わいわいテーブルなど、盛りだくさんのメニューを用意しています。

みなさま、当日は会場に、楽しみがてらどうぞおいでくださいね。^^;



こぶたの寄付金箱です



日時：2014年2月22日(土) 午前10時から午後6時まで

場所：桑名市総合福祉会館 大ホール（桑名市常盤町51）

桑名市民会館立体駐車場（会館の南側徒歩3分）をご利用ください



カエルの寄付金箱



### <当日のスケジュール>

- 9:00-10:00 集合・会場設営・展示
- 10:00- 開場
- 10:30-11:30 企業の社会貢献活動アピール&コメント  
コメンテーター 津市民活動支援センター 川北輝さん
- 12:00-12:30 演奏等
- 12:30-13:00 寄付セレモニー
- 13:00-13:15 開会セレモニー
- 13:15-14:40 市民活動団体助成プレゼンテーション
- 14:40-15:00 寄付投票
- 15:00-15:30 パートナー事業プレゼンテーション
- 15:30-16:00 助成団体活動報告・1分間アピール
- 16:00-17:00 桑名市長とのトークセッション
- 17:00-17:40 感謝状贈呈・助成金授受セレモニー

発行元 (特)みえきた市民活動センター

発行責任者 伊藤 香

事務局 〒511-0088 桑名市南魚町 86 めがね工房ごうじ内

TEL 0594-27-2700

FAX 0594-27-2733

E-mail [miekita@mie-kita.gr.jp](mailto:miekita@mie-kita.gr.jp)

<http://www.mie-kita.gr.jp/>